

2019年度

これからの企業経営を考える研究会

《今年度統括テーマ》

【企業経営の本質を問い、変革のシナリオを考える】

期 間 2019年1月～2019年12月(毎月1回全11回) 18:30～20:40
会 場 経営研究所 会議室
定 員 30社(年度途中のご参加も可能です)
年会費 1社400,000円(経営研究所維持会員は10%割引、分納可)

コーディネータ

富山 和彦 (株式会社経営共創基盤代表取締役CEO・
公益社団法人経済同友会副代表幹事)
新宅 純二郎 (経営研究所副所長・東京大学大学院経済学研究科教授)
内野 崇 (学習院大学経済学部名誉教授・株式会社関電工取締役)

一般社団法人 経営研究所

【2019年度 これからの企業経営を考える研究会のご案内】

経営のグローバル化、IT革命の進展、技術進歩のスピード加速、市場の多様性と複雑性の増大、調和と統合をめざした世界が分裂と衝突の時代へ等といった環境激変の時代にあって、今ほど経営(者)の質、経営意思決定の正否、経営の仕組み、経営変革力が問われる時代はないでしょう。本研究会は、経営の本質を問い、経営意思決定のあり方、その仕組み等を正面から取り上げ、併せて企業経営を担うトップ人材のあり方・育成等について一理論と実務の双方の視点に立って検討を行う研究会です。日本を代表するターンアラウンダー(企業再生の達人)であり、企業経営並びに経営者論の第一人者である富山と、戦略論の泰斗、新宅に加え、企業変革論の内野をコーディネータに、多彩なゲストを招聘し、経営の本質とその変革！に迫ります。

2019年度は「企業経営の本質を問い、変革のシナリオを考える」というテーマを掲げ、日本を代表する著名な経営者、研究者を招聘し、①これからのガバナンスの構造をどう考えたらよいか、②これからのトップマネジメント組織のあり方、③経営意思決定の仕組みとプロセスのコアをどう考えたらよいか、④これからのポートフォリオマネジメントのあり方、⑤真の経営者像とは、等、「経営の本質」に迫るテーマを取り上げ、マネジメント変革のシナリオと指針を提供します。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

【2019年度 研究会年間予定】

(原則第2火曜日、8月休会) 18:30~20:40

第1回	1月15日(火)	「これからの経営、これからの働き方」 波頭 亮氏(経営コンサルタント)
第2回	2月12日(火)	「知的機動力経営」 野中 郁次郎氏(一橋大学 名誉教授)
第3回	3月12日(火)	「ダイバーシティ経営を考える」 川本 裕子氏 (早稲田大学大学院経営管理研究科ビジネススクール教授)
第4回	4月9日(火)	「経営改革」 斉藤 惇氏(一般社団法人日本野球機構 会長 日本プロフェッショナル野球組織 コミッショナー 株式会社 KKRジャパン KKR Global Institute シニアフェロー)
第5回	5月14日(火)	「これからの企業経営とコーポレートガバナンス」 若杉 敬明(東京大学名誉教授/ ミンガン大学ロスビジネススクール三井生命金融研究所理事)
第6回	6月11日(火)	「シェアリングエコノミーの衝撃」 重松 大輔氏(株式会社スペースマーケット代表取締役/ 一般社団法人シェアリングエコノミー協会代表理事)
第7回	7月9日(火)	「これからの日本企業の人事パラダイムを考える」 林 貴子氏(株式会社 新生銀行 執行役員人事部長)
第8回	9月10日(火)	「これからのわが国の企業経営」 小林 喜光氏(株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長)
第9回	10月8日(火)	「日本企業の復活に向けて」 樋口 泰行氏(パナソニック株式会社代表取締役 専務執行役員)
第10回	11月12日(火)	「企業イノベーションとヤマトの挑戦」 木川 眞氏(ヤマトホールディングス株式会社取締役会長)
第11回	12月10日(火)	総括 富山 和彦 新宅 純二郎 内野 崇

(テーマは仮題となります)

【2018年度 これからの企業経営を考える研究会 テーマ・提言者一覧】

(提言者の所属はご提言当時のものです)

- 「自律型組織とその実践」 倉重 英樹氏(株式会社シグマックス代表取締役会長兼社長)
- 「1+1>2を引き出す企業経営とは？」 志賀 俊之氏(日産自動車株式会社取締役/株式会社産業革新機構 代表取締役会長 CEO)
- 「これからの社会と“働くこと”を考える」 古賀 伸明氏(前日本労働組合総連合会会長/現 連合顧問・連合総研理事長)
- 「“過剰規制のコンプライアンス”から“オモシロいコンプライアンス”へ」 國廣 正氏(国広総合法律事務所 弁護士)
- 「MUJIのグローバル展開」 松井 忠三氏(株式会社良品計画 名誉顧問/株式会社松井オフィス 代表取締役社長)
- 「エネルギーの未来」 橘川 武郎氏(東京理科大学イノベーション研究科教授)
- 「デジタル化時代における日本のものづくり」 藤本 隆宏氏(東京大学大学院経済学研究科教授)
- 「企業価値の向上について」 坂根 正弘氏(株式会社小松製作所相談役)
- 「アリババグループが推進するデジタルトランスフォーメーション」 香山 誠氏(アリババ株式会社代表取締役社長 CEO)
- 「5G時代と計算機科学応用によるダイバーシティ」 落合 陽一氏(筑波大学 准教授 デジタルネイチャー推進戦略研究基盤 基盤長
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社代表取締役)
- 「日本の企業イノベーションの課題と展望」 富山 和彦氏(株式会社経営共創基盤代表取締役 CEO)

【コーディネータ紹介】

富山 和彦

株式会社経営共創基盤代表取締役CEO・公益社団法人経済同友会副代表幹事。

<主な著書>『挫折力』、『会社は頭から腐る』、『カイシャ維新 変革期の資本主義の教科書』、『結果を出すリーダーはみな非情である』、『IGPI流 経営分析のリアル・ノウハウ』、『IGPI流 セルフマネジメントのリアル・ノウハウ』、『稼ぐ力を取り戻せ！日本のモノづくり復活の処方箋』、『なぜローカル経済から日本は甦るのか G&Lの経済成長戦略』、『選択と捨象』、『地方消滅 創生戦略篇』、『決定版 これがガバナンス経営だ！』、『IGPI流ローカル企業復活のリアル・ノウハウ』、『有名企業からの脱出 ～あなたの仕事人生が手遅れになる前に』、『AI経営で会社は甦る』など。

新宅純二郎

東京大学大学院経済学研究科教授、組織学会会長、国際ビジネス研究学会副会長、GBRC 常任理事。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、経済学博士。研究分野、経営戦略・国際経営。

<主な著書>『日本企業の競争戦略』(有斐閣)、『経営戦略入門』(共著、日本経済新聞出版社)、『ものづくりの国際経営戦略』『新興国市場戦略論』(共編著、いずれも有斐閣)、『コンセンサス標準戦略』(共編著、日本経済新聞出版社)、『ケースに学ぶ国際経営』(共編著、有斐閣)、『日本のものづくりの底力』(共編著、東洋経済新報社)、『ものづくりの反撃』(共編著、筑摩書房)ほか。

内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学経済学部教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。

『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

【経営研究所の活動と特色】

～わが国を代表する産・官・学の各界の“知と人”を結集した『研究会』が活動のメイン！～

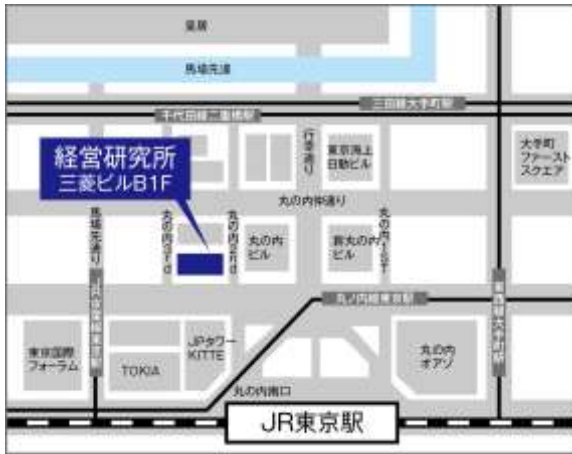
経営研究所は、経営の根幹にかかわるテーマごとに研究会を設け、各研究会の活動を経営研究所のコアにしています。各研究会にあっては、講義形式、セミナー形式をとらず、実務者、研究者等を中心に参加メンバーの知的格闘技を重視し、毎回、わが国を代表する多彩なゲストを招聘し、ゲストのプレゼンテーションにつづいて、参加者(ビジネスパーソンと研究者が中心)との間で、各回1時間ないし1時間半にわたって議論を重ねます。

単なる勉強の場にとどまることなく、その論議を通じて問題を深く掘り下げ、また参加者が相互に切磋琢磨するとともに、実務上、研究上の新しい着想と、知らぬ間に実践への指針を得ることをめざします。各研究会は、上記の研究会活動を通じて、それぞれに質の高い提言と討論がなされるのみならず、しっかりしたドキュメントを提供します。

【参加申込方法】

- 年会費** 1社 400,000円(経営研究所維持会員は10%割引、分納可)
 *年度途中のご参加も可能です。尚、年会費はお申込み頂いた月より1年間となります。
 次年度より自動更新となります。
- 申込方法** 所定申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくはFAXでご送付下さい。
 参加は会社単位で、1社4名の会員の登録ができます。
 月例会には2名迄ご出席頂けます。登録者以外の代理出席はご遠慮いただいております。
- 連絡先** 一般社団法人 経営研究所 事務局
 〒100-0005東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F
 TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208
 E-mail: keieikenkyusho@keieik.or.jp / URL: http://www.keieik.or.jp

会場案内図



【三菱ビルへの行き方】

- JR
 「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分
 京葉線「東京駅」10番出口より直結
- 地下鉄
 千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分
 丸ノ内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分
 都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分
 東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

2019年度
これからの企業経営を考える研究会 参加申込書

年 月 日

会社名
 所在地 〒

ふりがな 登録者氏名	TEL E-mail
所属部署および役職名	
ふりがな 登録者氏名	TEL E-mail
所属部署および役職名	
ふりがな 登録者氏名	TEL E-mail
所属部署および役職名	
ふりがな 登録者氏名	TEL E-mail
所属部署および役職名	

↑ ※請求書送付先は、こちらに丸印をつけて下さい。